

H29 年 4 月

## ～よく読まれている本の紹介～

1. まちがいさがしであそぶく 2016 年 1 月 ポプラ社  
遊べる知育ブックです。子供さんの利用が増えているので、静かに読んだり指を動かしたりして過ごされます。
2. 家庭でできるリハビリテーション 2013 年 5 月 法研  
怪我や脳梗塞で体が動かなくなった方のご家族が心配して読まれたり、手足の動きが思うようにいかなかった方々に利用されています。
3. 全部見える呼吸器疾患 2013 年 11 月 成美堂出版  
とても詳しく分かりやすい説明なので読まれる方が多いです。
4. NHK 今日の健康 脳卒中 2010 年 9 月 日本放送出版協会  
脳梗塞・脳出血・くも膜下出血・T I A・リハビリテーション・脳ドックなどについて書かれています。
5. 膵臓・胆嚢・胆管の病気 2011 年 4 月 主婦の友社  
以前は、入院されている男性が借りて読まれていましたが、最近は外来の方が多です・・・皆さん、気になりはじめましたか？

## ～子供の成長に関する新着本の紹介～

1. こどもの心と体の成長・発達によい食事 幼児期 2016 年 9 月 金芳堂  
毎日の食を通してこどもの食べる力をどのように育んで行くのか、その目安が書かれています。コラムには知的障害を伴う子供の「食」について、ムラ食いと偏食等のポイントが書かれていますので参考になりますよ。
2. こどもの心と体の成長・発達によい食事 学童期・思春期 2016 年 9 月 金芳堂  
思春期には性ホルモンの分泌が始まり、身体的に子供から大人に大きく変化する時期です。自立に向って正しい食事摂取方法を身につけて、自ら実践できる時期である事から食育が重要となります。ぜひ読んでみて下さい。
3. 発達障害の改善と予防 2015 年 12 月 小学館  
8 歳未満の脳は「未熟」で、脳の機能が「未分化」なため、幼少期の家庭ですべきこと、してはいけないことを採用し、それなりの努力をすれば改善できると書かれています。悩んでいないで一度読んでみませんか？
4. 発達障害の子の脳を育てる忍者遊び 2016 年 7 月 講談社  
楽しみながら失敗を肯定的に受け入れやすく、社会性を友達と遊びながら身につける！発達障害があると意識しづらい固定感覚・平衡感覚・触覚が鍛えられ、上手に体を動かせるようになるそうですよ。
5. ハリネズミの願い 2016 年 6 月 新潮社  
オランダの作家、詩人であるトーン・テレヘンは医業（家庭医）のかたわら 30 年以上にわたって子供たちのために動物を主人公とする絵本や物語を書き続けてきました。この物語の主人公は、自分に自信のない臆病で孤独なハリネズミです。読んでみたらハリネズミが近しくなるかもしれませんね。

\*看護師がお話を伺ったり、調べ物のお手伝いをしています。気軽に声をおかけ下さい。検索のお手伝いを致します。